

# 山内菜帆 (やまうち・なほ)

立教大学 経済学部 経済政策学科 3年

インターン先：株式会社熊野古道おわせ

実施期間：平成25年8月5日(月)～9月2日(月) [29日間]



### プロジェクトの社会的背景

温泉業界の盛り上げ・尾鷲ヒノキの間伐材活用

### プロジェクトの目的

全国一斉！敬老の日「100のありがとう風呂」を通じ、人とのつながりの大切さを訴える

### プロジェクトの概要

敬老の日に向けて、全国各地の温泉施設で「100のありがとう風呂」を開催する

### プロジェクト開始当初の目標

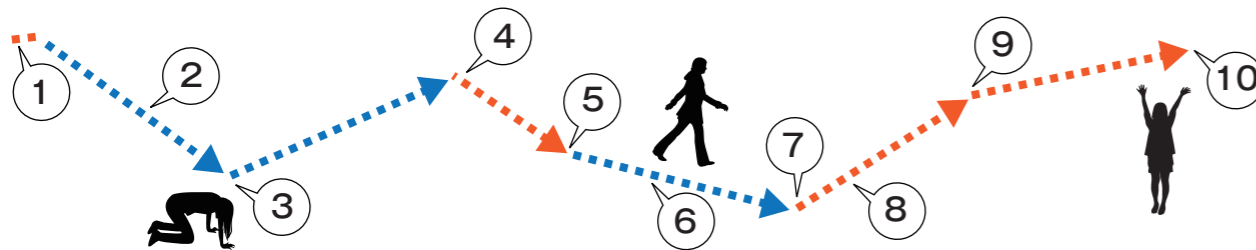
47都道府県各地での開催が目標

### プロジェクトにおけるあなたの役割

過去のエントリー先・新規の温浴施設にアプローチする

### モチベーション (成功と挫折) グラフ

Good



Bad

### 主な業務内容

8月5日	8月19日	9月2日
店内の通常業務 ・スタッフさんとの関係作り ・朝のお風呂掃除 ・尾鷲や県外のお客様とお話する	エントリー店舗を増やす ・既存参加店舗に電話 ・新規店舗への電話アプローチ ・ファックスDMを送る	尾鷲の人に発信する企画 ・尾鷲高校サッカー部に訪問 ・学童保育に、間伐材の紙芝居
	ありがとうアルバム作成 ・参加温浴施設に入浴木をもったスタッフ写真を提供してもらい、アルバムを作成	夢古道のブログ継続 ・Facebookの閲覧者を増やす ・情報発信を継続



尾鷲でインターンをしてよかったです。街全体でインターン生で学びました。この事を次の世代につないでいきたいと思いました。

私が提案した企画書を配送したところ三日目で、提案した物が返ってきました。成果として形になったのが嬉しかったです。

インターン生の中で考え方が違うので、各々の視点で気づいた事を実行できたら面白いと思いました。

尾鷲の中で若者が外に出て行ってしまいう不安に対して私は何が出来るのか?とまた悩みました。

他のインターン生とお話して、自分には出来ない事は何なのだろうか?となやみはじめました。

「100のありがとう風呂」を若者があまり知らない事がわかり次の企画に繋がりました。

私がインターン先でどのように受け入れられているのか不安になりました。

人と人との繋がり大切さを再認識しました

東京の温泉関係フェアで尾鷲にある問題を聞き、インターン生の私にできることを悩み解決策を考えようと強く思いました。